

# 木曾川町連区

# 第17号

## 地域づくり協議会だより

発行日：平成28年1月1日 発行者：木曾川町連区地域づくり協議会  
一宮市木曾川町内割田一の通り27（一宮市木曾川庁舎内） 電話：84-0005  
ホームページ <http://138kisogawa.org>  
メールアドレス [k-chiki@orihime.ne.jp](mailto:k-chiki@orihime.ne.jp)

\*\*\*\* 新年のご挨拶 \*\*\*\*

木曾川町連区地域づくり協議会 会長 光崎 邦雄

### 新年あけましておめでとうございます

連区の皆様にはお健やかに新年を迎えられたことを、こころよりお喜び申し上げます。

昨年は異常気象により過去に例がないような集中豪雨によって、各地で河川の氾濫が続きました。それにより、皆さんの防災意識が高まり地域の絆の大切さが再認識されました。

木曾川町連区の防災訓練を関係団体のご協力により、昨年は東小学校で実施しました。本年度は黒田小学校に於いて開催を予定しています。

将来いつか起こり得る災害時にこの体験が役立つ事を願って、多くの皆様のご参加をお願い致します。

地域づくり協議会は、設立3年目を迎えることになりました。市内23連区の中でも人口増加率が高い魅力のあるこの街をより良くするため、木曾川町に何が足りないのか、どのような問題があるのか、どのようにしたら良いのかを考えた時、先ず女性の部会を立ち上げ、多くの参加を頂けるよう、すでにその会合が始まっています。誰もが住んでみたいと思える街づくりのため、女性の目線でのご意見や活躍が期待されています。

そして、交通安全・防犯活動・見守りネットワークなど各団体の活動を通じて、気くばり、目くばり、声かけ運動を進めてまいりたいと思います。今年も皆様のご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

最後に皆様のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

\*\*\*\* 団体紹介 \*\*\*\*

### 木曾川連区民生児童委員協議会

私たち40名の民生児童委員と3名の主任児童委員は、包括支援センターや学校・役所などの関係諸機関とのパイプ役として活動する地域福祉のサポーターです。地域での高齢福祉、児童福祉、家族の問題など生活に関する悩みや相談事で支援を必要とする皆様に対して助言や情報提供をしています。



具体的には次のような活動をしています。

1 お年寄りに対して・・・悩み事や生活に関する相談への助言・見守り、福祉サービス（食事・家事など）の情報提供と支援。

ひとり住まい高齢者台帳に登録されている方へは、『こんにちは運動』や『歳末訪問』の定期訪問と随時訪問。

ひとり住まい・障がい者・老老家庭へは、随時訪問や相談活動及び災害時要支援者への支援などです。

2 児童（母子家庭・父子家庭を含む）に対して・・・いじめ、不登校、児童虐待の早期発見と諸機関との連携。これは主任児童委員が中心に活動しています。

3 委員として

月1回の定例会議、小中学校・保育園・児童館の行事への参加、連区敬老会の支援、力量を高めるための研修・講演会への参加。

7月には木曾川町にある3つの施設 ①児童養護施設「宇宙」 ②ケアハウス「コムネックスみずま」 ③介護老人福祉施設「サンリバー」を見学しました。施設の内容説明・参観により具体的に施設を知り、今後の活動に活かそうです。



定例会

更に活動を円滑にするためには地域の人々との連携が不可欠であり、各区会、町内会、老人会等との情報交換の場も必要と考えます。

困っている方の手助けや訪問した時、「ありがとう、助かります」の声にうれしさを感じます。運動会や発表会・合唱コンクール・卒業式などでの園児や児童生徒の活躍や笑顔に接して私達も元気をいただけます。

最後になりますが、生活支援はあくまで自己申告制です。何かお困りのことがありましたら遠慮せず私達民生児童委員や主任児童委員に声をかけていただき、皆様が自立して安定した生活ができることを願っています。

### \*\*\* 保育園紹介 \*\*\*

## 玉 / 井 保 育 園

当保育園は、昭和45年4月1日に開設。現在は、定員・乳児35人、幼児115人の園です。

正門横の桜の木は、この地域でもめずらしいくらいに、縦に横にと枝を伸ばした大木で、春の入園式の頃には圧倒されるほどの満開の花を咲かせ、夏には蝉の音が聞かれ、保育園のシンボルになっています。園舎は、開放的な平屋作りで、異年齢での交流が持ちやすく、年齢の低い子どもたちは、お兄さんやお姉さん達の遊びに興味を持ち、真似をしたり一緒に参加したりと家庭的な雰囲気の中で、過ごしています。また、先日は散歩中の方に「今日も子どもたち元気だね」と声をいただいたり、ご近所の方に「子どもたちの、喜ぶ顔がみたいから…」と手作りのモビールをいただいたりして、地域の方の温かい心に感謝しております。



これからも“元気よく挨拶する子”“体を大切にする子”“人とのかかわりの中で思いやりの気持ちを持つ子”“地域に愛される保育園”を目標に、職員一同、力を合わせて頑張りたいと思います。